

平成 26 年 7 月 11 日

お客様各位

東京都千代田区神田錦町 3-7-1
日産化学工業株式会社
経営企画部

週刊文春 4 月 17 日号の『米国产「危険食品」で子供が壊れる』の記事について

平素は弊社ラウンドアップマックスロード製品をご愛顧くださり誠にありがとうございます。

さて、平成 26 年 4 月 17 日号 156 頁以降に掲載された『警告キャンペーン TPP 成立で大量流入 & 規制撤廃 米国产「危険食品」で子供が壊れる』の記事において、ラウンドアップに触れた部分が誤解・懸念を生じる内容であったことから下記の通り文藝春秋社に対して抗議いたしましたことをご報告申し上げます。

ラウンドアップ(グリホサート)は、日本、米国、欧州各国を始め多くの国々で、安全性に関するデータが厳正に審査されて登録認可されています。

お客様におかれましては、引き続き安心してご使用頂きますようお願い申し上げます。

記

当該記事の 159 頁において、『ラウンドアップの主成分は「グリホサート」という化学物質だ。急性毒性がないため、日本ではホームセンターでも売られているが、あらゆる植物を根こそぎ枯らしてしまう猛毒である。』と記載されており、あたかもヒトに対して少量でも人命にかかわるような、非常に危険なものとして誤解させるような表現ですが、ラウンドアップマックスロードは毒物、劇物の指定は受けておりません。

さらに、『これまでグリホサートの毒性に関して多くの論文が、肝臓細胞破壊、染色体異常、先天性異常、奇形、流産のリスクがあると警告している。しかし、残留濃度を上げたら人体にどんな影響があるかといった実験はまったくなされていない。』と掲載されていますが、近年発表されているグリホサートに関する論文について豪州で検証されており、それらの論文により評価を変更する必要はないとされています。また、残留濃度を上げた場合についても安全性は十分に考慮されています。

ラウンドアップ(グリホサート)は、日本、米国、欧州各国を始め多くの国々で、安全性に関するデータが厳正に審査されて登録認可されています。また、国際連合食糧農業機関 (FAO) / WHO の残留農薬専門家委員会合同会議 (JMPR) においても安全性が評価され、グリホサートは急性毒性が低く、催奇形性、発がん性もなく、非常に安全性が高いことが国際的に認められています (*.1)。

(*.1)

• Joint Meeting of the FAO Panel of Experts on Pesticides Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group, Pesticide residues in food – 2004, Toxicological evaluations, Part II, Glyphosate, Page 95-169